

単位数： 1 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ F 組

教科担当者：（ A組： 務台 ） （ B組： 務台 ） （ C組： 務台 ） （ D組： 務台 ） （ E組： 務台 ） （ F組： 務台 ）

使用教科書：（ ）

教科 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付けている。課題に関わる概念を形成して、探究の意義や価値を理解している。	実社会や実生活と自己との関わりから、問いを見出して課題を立てることができる。情報を集めて整理・分析してまとめ、自分の言葉で表現することができる。	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養おうとする。

科目 家庭科の探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付けている。また生活を主体的に営むために必要な知識や技能を身につける。	実社会や実生活と自己との関わりから、問いを見出して課題を立てることができる。情報を集めて多角的に考察して自分のものの見方や考え方を広げ、言葉を通じて他者に伝え合うことができる。また生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決する力を養うことができる。	社会生活における諸課題について、事実をもとに様々な立場や視点から考察し、自分の考えをまとめようとする。また周囲と協働し、自分・家庭・地域の生活を主体的に想像しようとする実践的な態度で臨むことができる。

単元名・指導項目・内容	単元の具体的な指導目標	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	ガイダンス テーマ設定 計画・立案	自己理解（自分の興味・関心、大切にしていることを知る）を深める。 自己と社会のつながりを考え、自分の興味・関心と社会の関わりに気付く。 社会の中の自己について考え、社会において、自分ができることに気付く。	【知識・技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付けている。また生活を主体的に営むために必要な知識や技能を身につけている。	○	○	○	7
	情報収集と整理・分析 「中間発表資料」の準備	収集した多くの情報を、多様な視点から分析する。 整理・分析した途中経過と方向性を「中間報告資料」にまとめる。	【思考・判断・表現】 実社会や実生活と自己との関わりから、問いを見出して課題を立てることができる。情報を集めて多角的に考察して自分のものの見方や考え方を広げ、言葉を通じて他者に伝え合うことができる。また生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決する力を養うことができる。	○	○	○	7
2 学期	中間発表 研究テーマの再構築 研究	中間発表をするとともに、振り返りを行う。 他者の発表を聞いて、自己の研究を再考察する。 探究のプロセススキルを習得する。 課題に対して、自ら解決策を考えることができる。	【主体的に学習に取り組む態度】 社会生活における諸課題について、事実をもとに様々な立場や視点から考察し、自分の考えをまとめようとする。また周囲と協働し、自分・家庭・地域の生活を主体的に想像しようとする実践的な態度で臨もうとする。	○	○	○	8
	研究 「研究成果発表資料」と「パワーポイント」準備	探究のプロセススキルを習得する。 課題に対して、自ら解決策を考えることができる。 結論や主張、伝え方を考える。		○	○	○	8
3 学期	研究成果発表 振り返り	研究成果発表をするとともに、振り返りを行う。 思考の変化や行動を振り返り、自分の言葉で成長のプロセスを表現する。 自分がどのように社会と関わりたいか、今後、何を学ぶ必要があるのかを明確にする。 社会の中の自己について考え、社会において、自分ができることに気付く。 次の研究に向けて考察し、知見を深める。	○	○	○	5	
						合計	35